

医療保険制度は相互扶助ではなく理不尽

1、相互扶助とは「1万円分ご馳走してもらったから、次は私が1万円分ご馳走するね」ということです。ならば、はじめから割り勘にすれば相互扶助になります。つまり、自分の医療費は自分で支払えば良いだけです（生まれつきの難病患者さんは例外とする）

相互扶助なるものは、『負担だけの者』と『受益だけの者』に二分させる結果となり、決して、相互扶助にはなりません。

2、高齢者に優しすぎる政治を続けてきた結果、医療保険制度は崩壊しました。年々増え続ける医療費上がり続ける国民健康保険税・社会保険税。これは医療保険制度が崩壊した証です。

これからは医療費の自己負担率を上げて、「自助精神」を根付かせる必要があります。

3、高額療養制度の自己負担がたったの8万円で、残りはアカの他人が負担する制度では、自堕落な生活を続けた挙げ句（ギャンブル、生活保護、動物虐待飼育、妬み、いちゃもんつけ）、病気になる者が後を絶ちません。『病気になるのは自堕落な証拠で恥』という世論形成を。

※高額療養制度は自堕落な生活をした挙げ句、病気になった者を助けるという制度で平等の原理原則に叶っていません。違憲ではありませんか？

4、犯罪者は逮捕されるのに、どんなに非道なことを続けようとも病気になりさえすれば、医療費の大半をアカの他人に負担してもらえらというのでは筋が通りません。

福島市矢剣町11-3 星野節子

024-563-7650

動物の繁殖は虐待（繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ）